friendship force HIROSHIMA

Newsletter Vol. 9

【 平成２８年８月３１日 発行 】

Outbound (渡 航)- New Plymouth in New Zealand Report -

ようこそ (Yokoso) - Welcome
(New Plymouth Club会長歓迎のことば)

As president of the Friendship Force New Plymouth club, I would like to welcome Ambassadors of the Friendship Force Hiroshima club to New Plymouth.
I hope the weather stays mild for your exchange and you enjoy the range of activities the exchange committee have arranged for you .
In the best of Friendship Force tradition, we will remain friends for life .
In Friendship　Rod Walker

今年のOutboundは国内他クラブから3人の参加者を得て14人のアンバサダーでニュージーランド北島のNew Plymouthを訪問しました。
ニュージーランドの国土と人口規模（日本の面積はNZの約1.4倍、人口は約26倍） から容易に想定できることでしたが私がお世話になったED(Larraine & Ashley Smith)宅を始め訪問した会員宅の大きさと土地の広さには圧倒されました。因みにEDのLarraine & Ashley Smith宅は敷地5エーカー（6,100坪）で大きな自宅の一角に趣味のクラシックカー7台を持ち全国から見学者がやってくるほどのものでした。仕事に明け暮れた自分の現役時代に比べ余暇を徹底的に活用し、大金は使わず、ここまでやり遂げることが出来る先進文化に羨望の念を持ちながら自分の人生を振り返る機会になりました。（ＥＤ 猪原 俊郎 ）

【 概略行程 】
５月 18 日　10時岡山空港出発
５月 19 日　仁川経由オークランド着
５月 24 日までNew Plymouthにホームステイ
５月 25 日から27日までオプショナルツアー、オークランド、ロトルア方面
５月 28 日　オークランド出発、仁川経由で岡山着

Taranaki山のすそ野に250頭の乳牛を放牧するホストのMr. Allanは、金曜日には牛のパデック（放牧区画）移動や搾乳管理を作業員にまかせて市内のワークショップの溜まり場で仲間たちとビンテージカーの修復やアマチュアsmithを楽しむ陽気な熟年。連日庭のポールに日章旗を掲げてくれて、妻のPamさん共々、２人（川嵜、松浦）のホームステイを心から歓待してくれたので、打ち解けて連日会話が出来ました。

（２ページへ続く）

自慢の1958年製クラシック・カーRambler Ambassadorで放牧地、サイロ、貯乳タンクや搾乳場等牧場廻りをしてくれました。我々がHello！と挨拶するとNZの牛達は「Moo [mu:]！私たちは毎日２４時間、戸外生活して人間たちにミルクを提供しているの」と、せっせと草を食んでいました。　（松浦 忠昭）

New Plymouthは思ったより寒く、変わりやすい天候に驚きましたが、会員の皆さまの暖かいおもてなしに感激しました。大きな美しい虹を見るたびに歓声をあげ、緑の広がる牧場に心癒されました。HostのJudyは７６歳の元ナースで愛犬と暮らしています。センスのよい彼女のインテリアも庭もとても参考になりました。
（森川 悦子）

タラナキ山をシンボルとするこの地域は冬近しというのに、延々と、緑の牧草地が続く。そして、牛、牛、牛。牛舎がなく牛を一年中牧場に出しっ放しということが信じられなくて戸惑った。私たちのホストは、牧場を経営し忙しいのに、全面的に受けてくださった。しかも高齢、いつも親切だった。今日はこの家、次はあちらと、ほぼ毎日big dinnerや、potluck party、お茶会が開かれる。ホストをする人、運転役をする人、料理をふるまう人等協力し合う、相互の絆があってこそできることと感心した。広々と小奇麗なうちに住み、高齢であっても活動的で、互いに仲良く、人生に余裕のある暮らしぶりだった。英語で、聞きたいこと話したいことの本音トークができるって、高嶺の花。しかし、私たちは、英語に翻弄されながらも楽しく過ごせました。EDの猪原様を初め、ご一緒くださった皆様におせわになり、大変ありがとうございました。　（谷口 昌史・悦子）

果てしなく広がる荒々しい海、町を抜ければどこまでも続く緑の牧草地と草を食む牛や羊たち・・・空港で出迎えてくれたのは、鼻に大きなガーゼを当てたホストJudyでした。数日前に庭で転んだとの事、大変心配しましたが重傷でなくてよかった！Judyは犬のTopsyと共に暮らす一人暮らしのやり手の元ナース。庭仕事が好きで、料理も手際よく、なかなかの腕前でした。本当に温かくもてなしていただき感謝の言葉もありません。マオリの歌を歌う生徒たちに感銘を受けた学校訪問、私にはおこがましいばかりだった市長訪問、伝統を大切に受け継ぐ誇り高きマオリの方々・・・等々、思い出は尽きません。皆様のお陰で思い出に残る素晴らしい訪問となりました。ありがとうございました。
（菅川 広弥）

人と人とが繋がり、心温まる交流を通して、New Plymouth の人々の生活、文化、物の考え方に接し、「人間みな兄弟」という気持ちを強く抱いた旅でした。ホストから学んだ「thoughtful」という言葉も、私にとっては素晴らしいプレゼントになりました！この言葉の中にNew Plymouth Clubの人達の「おもてなし」の真髄があるように思いました。もう一つ忘れられない出会いがありました。到着した日、ホストに代わって私を迎えてくれたホストの友達Joyの夫、Don Hine（９０歳） さんです。彼は、１９歳の時、呉にニュージーランド兵として駐屯していました。当時習った日米会話集を取り出して、広島の被爆の惨状について、話してくれました。ニュージーランドの地で、被爆地広島について語り合えるとは、感無量でした！　（廣森 彌生）

（３ページへ続く）

6泊のニュープリモス、ホームステイの旅は、ホストの皆様に心のこもったおもてなしをしていただき、言葉では言い表せないくらい有意義な旅でした。ホームステイさせていただいた家庭の豪華さ、お世話してくださった方々の温かいお気持ち、ニュープリモスの美しさ、どれをとっても私の人生最高の旅でした。お天気が雨の時が多く残念に思いましたが、その雨に建物が掃除されるからか、建物もきれい。また道路は落葉樹がないせいか、芝生も整備され、その緑がとても美しく、心が洗われるようでした。

フリーデイの日は、タラナキ山を1周するドライブ、ハウエラ付近にあるホストの牧場を案内していただき、その広い庭と池、ペットのウナギの大きさにもびっくりです。

一緒に参加した皆様方の行動力にも感化され、たくさんのパワーをいただきました。

（坂井 恵子）

私と坂井さんのホストは、会長のRod&Anne夫妻でした。毎日盛り沢山のスケジュール中、FFメンバーの心からの温かいもてなしを受け、あっと言う間に過ぎた6日間でした。

フリーの日、Rodさんが彼の姉のJudyさんの所にstayしていた森川さん、菅川さんと共に、TAWHITI美術館、農場(現在は息子さん)、元自宅、公園のような庭、娘さん宅等々、案内してもらい、雄大な牧草地が広がるタラナキ山を一周しましたが、流石に環境先進国、ゴミの投げ捨て等々、目に入ることはありませんでした。団らんの時、Anneが広島のメンバーと歌や踊りも一緒に楽しみ、交流できたことをとても喜んでおられた言葉を思い出し、空港での見送りの時涙が出てきました。皆さんのお陰で有意義な時を過ごせて、大満足の旅になりました。ありがとうございました。　（渡辺 絹子）

ニュープリマスはニュージランドのイメージ通りの素晴らしいところでした。牧場の緑が広がり数えきれないほどの羊が放たれたおとぎのような国でした。

そしてFFメンバーの方々の暖かいサポートを頂き最高の体験を得ました。日本車が圧倒的に走っているように親日国としての印象も強く受けました。　（神森 且視）

長年の希望、ニュージーランド交換を知り、岡山に住む姉を誘って申し込みましたが、渡航先ニュープリマスは馴染みもなく、広島クラブの方々とご一緒といささか不安を覚えつつの参加でした。生憎の天候でしたがＫａｉｒａｅ　Ｍａｒａｅ，羊牧場、市長表敬訪問、エグモント山等々ニュープリモスクラブの素晴らしいプログラムで楽しい盛りだくさんの1週間でした。なかでも印象深かったのはHighlands Intermediate School訪問。

子供達は素直で逞しくＭａｏｒｉの文化を学び尊重し共存する姿に感動、ニュージーランドの底力を見るおもいでした。

緑の美しい大地と心優しい人々、ＥＤ猪原さんの行き届いた指揮、暖かく受け入れて下さった広島クラブの方々そのすべてに感謝しています。姉からも宜しくとの事です。またいつの日かご一緒させていただきたいものです。

（東京クラブ　光定 典子）

（４ページへ続く）

FFに入会しambassadorは今回初めてでした。期待に胸を膨らませてニュージーランドに行きました。以前から良い国だと人伝てに聞いていましたが、New Plymouthは地方の小都市ということもあってか、人々は非常に親切純朴でhospitalityの心にあふれていました。Hostの方々の家屋は日本ではまずお目にかかれない豪邸ばかりで、牧草地に囲まれた自然豊かな美しい町でした。

ゴミなども全く市街地にみあたらず清潔感のある町でした。自然を大切にし、日頃から周囲の人達との交わりを大切にする暮らし方が文化として根付いておられる観を強くしました。人の心の温かさに十分ふれることができたことは私の人生で大きな収穫でした。多くの方が親日家であるという印象を強く受けました。FFという世界組織によるhomestayで初めてこのような経験ができ、単なる観光では味わえないものだと感謝しています。　（CO-ED　川嵜 武博）

今回のニュージーランド渡航について、私は福岡クラブから単身参加であり、高齢でもあるうえ、体調にもやや不安を抱えていましたが、猪原さんをはじめグループメンバー皆様のご配意やご援助により、さらには私のホームステイ先のご夫婦からの細やかな配慮も受けながら、無事に活動を達成できたことを深く感謝しております。現地の訪問期間中、人々の生活や暮らし方、自然環境、文化や教育など興味深く見聞を深めることができニュープリマスの皆さんとの親善、ふれあいを通じてFF精神による活動に幾分なりとも寄与できたものと思い返しています。

（福岡クラブ　鹿島 精利）

Optional Tour（5月25日 ～ 27日）

交換終了後、5月25日ニュープリモスを発ちオークランドへ移動。下記のオプショナルツアーを楽しみました。（5月26日 ロトルア1日観光、5月27日 自由行動と夕刻デイナークルーズ）

秋の交換プログラム

今年度FF広島は、Inboundの交換プログラムを１０月と１１月に２回実施します。
それぞれの概要を紹介します。デエイホスト等、会員の皆さまのご協力をお願いします。

① Coatepec Club 交換プログラム

＊日　時　　１０月４日（火）～１１月１１日（火）
＊アンバサダー　　１６名
　１６名のアンバサダーは５カップル１０名、男性２名、女性４名（２名は同室希望 ）
＊ホスト　　１０名
　弓手、井出、牧田、丸橋、渡辺、金森、川嵜、小川、久田、森川の福山地区会員１０名
＊スケージュール
　１０月　４日（火）愛知クラブより到着（１４：００）オリエンテーション（福寿会館）ホスト宅へ
　１０月　５日（水）常石造船所　見学（午後）　１６：３０～餅つき、Welcome Dinner
　１０月　６日（木）昼食（シーサイドホテル）鞆の街散策　ガイド（福山メンバー）
　１０月　７日（金）広島訪問（新幹線）平和公園
　１０月　８日（土）広島訪問（新幹線）宮島
　１０月　９日（日）Free Day
　１０月１０日（月）Free Day, 夜　Farewell Party　（Ｔｈａｎｋｓ　Ｄｉｎｎｅｒ）
　１０月１１日（火）福山発　関西国際空港からメキシコへ帰国（１６：２５）

ＥＤ 廣森 彌生　Co-ＥＤ 山本 鈴子

② Niagara Club 交換プログラム

FF Niagara Clubは当初Stopover で１０月３０日に広島着、ホテル滞在後１１月３日に朝広島発FF大分にてHomestayの予定でした。しかし、熊本で大地震が発生しFF大分も震災により引き受け不可能となりました。FF Niagara Clubは広島のみならず中部、中国地区の各FFにhomestay受け入れの打診をしてきました。最終的に他のFFが全て断ったこともありFF広島でhomestayを受け入れようということになりました。

＊日　時　１０月３０日から１１月２日まで広島でstopover １１月３日から１１月９日まで福山でhomestay（メキシコのホスト終了後１カ月での１週間に渡る長期hostは大変でしょうがよろしくお願いします。）
＊アンバサダー１４名　２カップル（４名）、男性シングル１名　女性シングル９名
＊ホスト　１０名　渡辺、小川、廣森、森川、久田、延廣、金森、内海、桑田、弓手
＊スケジュール
　１０月３０日（日）FF Niagara Club 広島駅到着（時刻不明）アステルプラザで宿泊
　１０月３１日（月）平和公園で原爆関係博物館、慰霊碑等見学
　１１月　１日（火）宮島見学
　１１月　２日（水）福山鞆見学（鞆中学生による鞆の紹介）
　１１月　３日（木）福山にて歓迎昼食及びOrientation
　１１月　４日（金）常石造船訪問、及びFF Hiroshima 会員の寺訪問
　１１月　５日（土）Free Day
　１１月　６日（日）しまなみ海道経由　瀬戸田耕三寺見学　今治にて桜井漆工場見学
　１１月　７日（月）日中　Free day　夕方よりThanks dinner party
　１１月　８日（火）倉敷大原美術館、倉敷美観地区、岡山後楽園訪問
　１１月　９日（水）Free day
　１１月１０日（木）広島空港より帰途

ＥＤ 川嵜 武博　Co-ＥＤ 竹内 征治

集う楽しみ － なでしこ会 －

7月20日（日）なでしこ会の集会を、安芸区瀬野町にある「てんじん」でランチをいただきながら和やかに開催しました。
福山から9名、山口県光市からもFF加入の参考にとご夫婦で、広島8名、合計19名の参加でした。
手入れの行き届いたお庭、心和むおもてなし料理を堪能した後、10月初旬に来広するFFコアテペック、また10月下旬からのFFナイアガラのスケジュール説明がありました。
福山から広島にJRで通いながら、平和公園、宮島など見学されるとのことで、こうして、福山、広島のメンバーが集い、連携を密にすることで、今回の交換もスムーズに行くと思います。まだまだ細かい打ち合わせもあり、これから10月に向かって、それぞれの地区で、役割分担をしていきたいと思います。
今回、広島なでしこ会の声かけでランチ会をしたように、総会だけでなく広島の3つのクラブが集い情報交換などする場があると顔なじみになり、離れていても協力関係がスムーズに行くのではと思いました。
皆さま、ご苦労様でした。　【 阿部 真由美 】

老若男女　ココロとココロが触れ合うホームステイ

会長　弓手　博

デジタル・メデイアやインターネットによって、日本の社会・文化、ライフスタイルまでもが大きく変わりつつあります。しかし、これらが進んでいくら生活が便利になったと言っても、コミュニケーションはバーチャルな疑似コミュニケーション。心がつながらないまま何か物足りなさがいつも残っています。

では、このように一見満ち足りていながら空虚な時代、どうすれば人と人とがココロの絆をしっかり結ぶことができるのでしょうか。それには、やはり、自ら出かけていき積極的に他者とココロの交流を図る以外にないと思います。ココロの中の「バカの壁」を打破するには、狭苦しいタコツボ生活から外に出ていき、異業種、異世代、異文化の人々と胸襟を開いて語り合うことが非常に大切でしょう。異文化交流、音楽・芸術活動やスポーツ交流、ボランテイアやコミュニテイー活動など方法は様々あるでしょう。なかでも、ホームステイによる生活体験・社会体験を通して可能となるココロの触れ合いは最も楽しくかつ最適な方法の一つと考えます。それは、そのような場が「ココロのない]英会話学校などとは全く異なっているからでしょう。

今年5月、ＮＺニュープリモスでの現地プログラムに組み込まれていた学校訪問において体験していただいたのと同様、ＦＦ広島はこれまで度々学校への訪問・交流を行ってきました。アンバサダーとともに取り組んだ学校文化体験交流では、福山市立中・高等学校、深津小学校、赤坂小学校、鞆中学校、穴吹製菓調理師専門学校、福山市立大学など多様な校種を選定して多くの若者とココロの触れ合い交流を進めてきました。

その一連の流れの中で、11月2日ＦＦナイアガラ・グループと行う鞆中2回目の Walk and talk with the townspeople of Tomoプロジェクトの成功に向けて、鞆中生徒と先生、市教委とＦＦ広島による準備会コラボが、福山市立大学において7月27日楽しい英語の歌とともに始まりました。その歌は50年前に若者だったころカナダ人から習った The more we get together, the happier we will be.♪♪♪ 鞆中生徒も大人もいっしょになって楽しく歌いました。やはり、英語は楽しまナイト

これからのスケジュール

日　　程	内　　容
9月2日（金）	西日本ブロック会議 （ 熊本 ） ５名出席予定
9月１５日（木）	Central Israel 来広
１０月　４日（火）から １０月１１日（火）まで	Coatepec Club（Mexico)受け入れ（ＥＤ廣森、Co-ＥＤ山本）
１０月３０日（日）から １１月１０日（木）まで	Niagara Club (Canada)受け入れ（ＥＤ川嵜、Co-ＥＤ竹内） Stop Over の予定が、大分クラブの震災の影響で急遽通常の受け入れとなる
１１月１１日（金）から １１月１２日（土）まで	日本大会（さいたま浦和ワシントンホテル） ２名出席予定
２０１７年　１月	総会（国際研修センター）
２０１７年　３月	outbound - Southwest Florida　参加希望者２１名

※ 英会話サロンは毎週水曜日開催、なでしこ会は原則月１回開催

－新会員紹介－

【 丸橋　智江　さん 】

この会の趣旨・活動などを聞くなかで素敵な団体だと思いました。今まで、このような団体を認識していなかった私に新たな分野が加わりました。今後の楽しみに期待しています。よろしくお願い致します。

【 井出　和雄　さん 】

今年の7月に入会しました井出和雄（いで　かずお）です。よろしくお願いします。現在も高校で教員をしていますが、今年の3月末で一応定年退職を迎え、4月からは再任用教員として、府中東高等学校で働いています。体育の教員で専門はラグビーですが、今はソフトテニス部の顧問をしています。英語は苦手ですが、頑張って勉強したいと思いますので、ご指導の方をよろしくお願いします。

【 牧田　幸文　さん 】

始めまして。今年度から参加させていただいている牧田幸文です。福山に引っ越してきて6年目です。この地域で国際交流をしたいと思い参加しました。各国の人たちと楽しい交流ができればと思っています。よろしくお願いします。

【 小野　一恵　さん 】

退職し、ゆとりの時間と有り余るほどの体力を何かに打ち込んでみようと考えていたところFFにお誘いいただき、さび付いた脳を活性化しようと入会しました。

機会をとらえて、世界中を回るのがささやかな楽しみです。皆さんよろしくお願いします。

【 西竹　優衣　さん 】

海外の文化や習慣などに興味があり、これから少しずつ勉強したいと思ってます。

よろしくお願いいたします。

編集後記

厳しい暑さが続くなか、ニュージーランド渡航等では詳細な報告をいただき、また、受入れの準備でご多忙のところ関係者の方々からも原稿をいただき、無事にNewsletter第９号をお届けすることができました。ありがとうございました。

Newsletterの質の向上のため、広報誌へのご意見等ございましたらメールでお寄せください。

今後ともご愛読くださいますようお願いします。

（ 編集委員　廣森彌生 ・ 松本浩子 ・ 小川正樹 ）